

重要取組シート

危機管理室 危機管理課

取組項目		避難情報発信力の強化	
現状・課題		○防災行政無線屋外スピーカーは災害時における避難情報の伝達等を行うための重要な手段の一つである。 ○頻発化、激甚化する自然災害に対応すべく想定最大規模の浸水想定区域等で防災行政無線屋外スピーカーを新設し、的確に避難情報を発信する必要がある。 ○防災情報は多様な手法を用いて効率的かつ効果的に市民に伝達する必要がある。	
取組の内容		○想定最大規模の浸水想定区域等の災害リスクが高い区域で防災行政無線屋外スピーカーが設置されていない地域に対し、スピーカーとモーターサイレンの可聴域を踏まえた適正なスピーカー配置整備を進める。また、既設スピーカーについては災害時に確実に情報発信できるよう定期的に機器点検・動作点検を実施する。 ○幅広い市民に対し迅速かつ確実な防災情報の伝達ができるよう、防災行政無線屋外スピーカーに加えて緊急速報メールやＬアラートを通じたテレビ・ラジオ、大阪防災アプリ、Yahoo! 防災速報アプリ、ホームページ、SNS など多様な手法を活用した情報発信を行う。また、発信に備えた訓練を実施する。	
スケジュール	前期 (～7月)	☐ (随時) 危機管理室員情報発信訓練の実施(定期実施) ☐ (随時) 防災行政無線屋外スピーカー機器点検・動作点検(定期に実施) ☐ (4月) 令和6年度災害情報伝達手段に関するアドバイザー会議実施 ☐ (5月) 防災情報システム O-DIS 研修(危機管理室員対象)	
	中期 (～11月)	☐ (8月) 台風対応訓練 ☐ (9月) 防災情報システム O-DIS 研修(全職員対象)	
	後期 (～3月)	☐ (3月) 防災行政無線(同報系)の新設完了	
	次年度以降	☐ 土砂災害警戒区域の新規指定及び新たな浸水想定公表等に伴い、防災行政無線屋外スピーカーの整備について順次対応	
進捗の状況	前期 (～7月)	☐ (随時) 危機管理室員情報発信訓練の実施(定期実施) ☐ (随時) 防災行政無線屋外スピーカー機器点検・動作点検(定期実施) ☐ (4月) 防災情報システム O-DIS 研修(危機管理室員対象) ☐ (5月) Lアラート全国合同訓練2024 ☐ (6月) 令和6年度災害情報伝達手段に関するアドバイザー会議実施 ☐ (6月) 風水害対応訓練 ☐ (7月) 台風対応訓練	
	中期 (～11月)	☐ (10月) 防災情報システム O-DIS 研修(全職員対象)	
	後期 (～3月)	☐ (3月) 防災行政無線(同報系)の新設完了	
2025 堺市基本計画	該当する施策	5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
	寄与するKPI	—	目標値(2025年度) —

(様式4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	住み続けられるまちづくりを	
		11		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度）
				—